

人材重視の金属加工メーカーの 安定成長を支援

課題

技術の継承と高度な 顧客要求への対応に不安

六和精工株式会社は産業用・建築用・家庭用問わず、各種プレス部品やダイカスト部品の金型製作から、プレス加工、アッセンブリ、組み立まで多様な分野を手がけている。

取引先は、国内メーカーを中心に20社を数え、高品質需要の増加にともない取引先数も増やしてきた。近年は、顧客からの要求水準が高くなってきているが、そうしたなかでも、ヘルメットの留め具、チェンソーに使用するペイナイト鋼板の加工、安全帯に使う部品である金具など、安全面への配慮が必要な難加工品には定評があり、受注も増加傾向にある。

従業員が安心して働ける企業を目指し、非正規雇用の従業員の正規雇用化を進めており、それにより従業員のモチベーションが高いことも同社の大きな強みといえるだろう。

ただ、一方で、熟練従業員のノウハウや技術が若手従業員に承継できていないことや、高度化している取引先の要求水準への対応、さらに将来を見据えた設備投資計画の作成など、早期に解決する必要のある課題も抱えていた。そこで、今後を見据えた設備投資計画を検討したことがきっかけとなり、平成28年より、坂東市商工会が支援を行うことになった。

支援

徹底したヒアリングから 中期事業計画を作成

商工会では先の課題解決に向けて、まずは徹底した現地ヒアリングを何度も行うことから着手。そのなかで、強みや機械を活かせる「ITを活用したサーボプレス利用技術の高度化による難加工品の製造実現」を事業の中核としていくことにした。また、資金調達に際して、ものづくり補助金を活用する提案を行った。

そして平成29年1月から中期事業計画の策定を行うと同時に、ものづくり補助金の申請に向けた支援を開始。その際、従業員の意見や提案を事業計画に反映したところ、実際の事業実施の際に各担当者が当事者意識をもち、計画遂行を目指すようになったのに加え、補助事業の進捗スピードを速めることにも貢献した。

さらに翌年、既存依頼品以上に要求水準の高い難加工品製造の実行段階に入った際には、新たな設備の導入や品質管理手法の構築などの課題が生じたため、経営者や現場担当者



ものづくり補助金で導入した設備

繰り返し話し合いを重ね、新たな課題を解決するための事業計画の作成を支援するとともに、ものづくり補助金申請支援を行い、採択を受けている。

これらの取り組みにより、労働生産性が前年比で13%向上。また中期事業計画に基づき、計画的な事業運営が可能になったのも大きな成果といえる。さらにものづくり補助金を活用したことで、自社の強みである難加工品の製造ができる企業としての認知度が向上した。今後も一層の販路拡大が期待されている。

支援の経過

期間	支援内容
H28年9月	ヒアリング・各種支援施策活用提案
12月	経営力向上計画の作成支援
H29年1月	ものづくり補助金の申請支援
5月	事業計画に基づく製造や販路開拓の開始
H30年4月	ものづくり補助金の申請支援

会社概要

会社名：六和精工株式会社
 住所：茨城県坂東市みむら641-1
 電話番号：0297-34-3016
 URL：https://rikuwa.com/
 代表者名：田中克宗
 創業年：昭和32年
 年間売上高：7億2172万円（平成29年）
 従業員数：37名
 商工会名・担当者名：坂東市商工会・上坂卓也